

平成28年度 事業実績

(公益目的事業)

I	常設展示	P. 1
II	特別展示	P. 8
III	資料収集	P. 13
IV	資料管理・保全	P. 15
V	調査・研究	P. 16
VI	図書室等の運営	P. 17
VII	教育普及	P. 19
VIII	施設維持管理・貸出等	P. 35
IX	広報事業	P. 41

I 常設展示

1 本館

(1) 常設展示

5・6階の常設展示室（8,934㎡）において、定期的な展示替えを計24回行ない、常時約2,500点の資料を展示するとともに、学芸員の研究成果を反映させた企画展や常設展示各コーナーで開催する特集展示を実施した。また、常設展の賑わい・楽しさを演出した「えどはく寄席」、テーマ性を持って展示解説をする「ミュージアムトーク」を定期的に開催した。外部機関と協力した企画展として、「発掘された日本列島2016」展（文化庁と共催）、「徳川将軍家の婚礼」展（公益財団法人徳川記念財団と共催）を開催した。

〔常設展観覧者実績〕

区分	平成28年度(A)	対前年比(A/B)	平成27年度(B)
一般	453,989人	101%	449,614人
学生	41,714人	102.5%	40,693人
高校生、都外中学生	79,306人	106.2%	74,658人
65歳以上	112,431人	89.5%	125,566人
無料観覧者 (小学生、都内中学生、 教育活動、視察)	310,056人	101.2%	306,397人
合計	997,496人	100.1%	996,928人
開館日数	316日	101%	313日
1日あたり観覧者数	3,157人	99.1%	3,185人

(2) 企画展

東京都江戸東京博物館のミッションに沿った企画展を7回実施した。

① 近代百貨店の誕生 三越呉服店

会 期 平成28年3月19日(土)～5月15日(日)

会 場 常設展示室5階 5F企画展示室

主 催 東京都 東京都江戸東京博物館

協 力 株式会社三越伊勢丹

内 容 日本における近代百貨店の成立を、三越呉服店を題材に、江戸東京博物館が所蔵する錦絵、絵葉書、写真、ポスターなどでたどった展覧会。明治維新後に上野において明治政府主導で開催された内国勸業博覧会や、博覧会が終了した後に陳列販売方式で一世を風靡した勸工場などが百貨店へと姿を変えていくその変遷を紹介した。

担 当 田中裕二（管理課事業推進係）

② 発掘された日本列島2016

会 期 平成28年6月4日(土)～7月24日(日)

会 場 常設展示室5階 5F企画展示室

主 催 文化庁、東京都、東京都江戸東京博物館、東京新聞、全国新聞社事業協議会

協 力	全国公立埋蔵文化財センター連絡協議会、全国埋蔵文化財法人連絡協議会、共同通信社
後 援	全国史跡整備市町村協議会
内 容	文化庁との共催で、最新の発掘調査の成果を公開する巡回展。今年度は、旧石器時代から近代に至るまでの 29 遺跡から、造形美豊かな縄文土器や、平城京大極殿院の鬼瓦などをはじめとするの出土品を展示し、併せて東日本大震災の復興事業に伴う発掘調査の成果について紹介した。また、地域展では「掘り出された江戸の町 一橋高校遺跡出土資料から」と題し、近世考古学の本格的始動のきっかけとなった一橋高校遺跡に注目し、出土資料から江戸庶民の暮らしに迫った。
担 当	小酒井大悟(事業企画課展示事業係)・杉山哲司(事業企画課展示事業係)

③ 山岡鉄舟と江戸無血開城

会 期	平成 28 年 8 月 11 日(木)～9 月 25 日(日)
会 場	常設展示室 5 階 5F 企画展示室
主 催	東京都 東京都江戸東京博物館
特別協力	臨濟宗 全生庵
内 容	山岡鉄舟ゆかりの寺院・全生庵の協力を得て、生誕 180 年を記念し、山岡鉄舟の生涯に注目し、幕末・維新史のハイライトである江戸無血開城を振り返る。 勝海舟に比し、注目される機会が少なかった鉄舟の無血開城に果たした役割を明らかにした。
場 所	常設展示室 5 F 企画展示室
担 当	小酒井大悟(事業企画課展示事業係)

④ 伊藤晴雨幽霊画

会 期	平成 28 年 8 月 11 日(木)～9 月 25 日(日)
会 場	常設展示室 5 階 5F 企画展示室
主 催	東京都 東京都江戸東京博物館
特別協力	臨濟宗 全生庵
企画協力	スタジオジブリ
内 容	伊藤晴雨の巧みな筆捌きで描かれた幽霊画のほか、江戸時代考証や風俗研究成果も紹介し、新たな晴雨像を示した。また、スタジオジブリの協力により、観覧者に複製画とスタジオジブリの鈴木敏夫プロデューサーのコメントを体感していただく特設コーナーを設け、展示を楽しむとともに宣伝効果も高めた。
場 所	常設展示室 5 F 企画展示室
担 当	小林愛恵(事業企画課展示事業係)

⑤ 市民からのおくりもの 2016—平成 27 年度 新収蔵品から—

会 期	平成 28 年 10 月 15 日(土)～12 月 4 日(日)
会 場	常設展示室 5 階 5F 企画展示室
主 催	東京都 東京都江戸東京博物館
内 容	博物館が近年新たに収蔵した資料を公開する展覧会。平成 27 年度は 5,500 点余りの資料を収蔵したが、その中から厳選し、東京空襲の焼け跡を描いた

スケッチ 159 枚や寄席関係資料などを展示した。

寄贈者に感謝の意を表するとともに博物館の資料収集活動に対する都民の理解を深める機会とした。

担 当 事業企画課資料係（熊谷紀子、益田茂、粟屋朋子、畑尚子、落合則子、西村直子、岡真理香）

⑥ 徳川将軍家の婚礼

会 期 平成 29 年 1 月 2 日(月)～2 月 19 日(日)

会 場 常設展示室 5 階 5F 企画展示室

主 催 東京都 東京都江戸東京博物館、公益財団法人徳川記念財団

内 容 公益財団法人徳川記念財団が所蔵する徳川家ゆかりの品々を紹介する展覧会。今回は徳川将軍家の婚礼について、婚礼行列絵巻や 13 代、14 代将軍御台所の篤姫(天璋院)、和宮(静寛院宮)の婚礼道具を通じて、婚礼の意味や役割などを紹介した。

担 当 野本禎司（公益財団法人徳川記念財団）

小酒井大悟（事業企画課展示事業係）・杉山哲司(事業企画課展示事業係)

⑦ 戦時下東京のこどもたち

会 期 平成 28 年 3 月 7 日(火)～5 月 7 日(日)

会 場 常設展示室 5 階 5F 企画展示室

主 催 東京都 東京都江戸東京博物館

内 容 昭和 20 年 3 月 10 日の東京大空襲から 72 年たち、当時の体験が語り継がれる機会が少なくなってきた。国民学校、学童疎開、勤労動員、東京大空襲など戦時下の暮らしを当時のこどもたちの言葉や体験、ゆかりの品々を通して振り返った。

若い世代や対象とした現代の子供たちに平和の尊さを考える機会とした。

担 当 松井かおる（事業企画課展示事業係）・川口友子(事業企画課展示事業係)

2 分館（江戸東京たてももの園）

(1) 野外収蔵（分館）

「江戸東京たてももの園」において、現地保存が不可能な文化的・歴史的価値の高い建造物を移築・復元し、保存・展示する。さらに、復元建物の内部では生活民俗資料の展示を行うとともに、町並みを再現・創造し、優れた建築文化の理解に役立つ展示を行う。また、四季折々の行事や遊び、伝統工芸の実演を行う。

〔入園者実績〕

区 分	平成28年度(A)	対前年比(A/B)	平成27年度(B)
一 般	96,762人	97.9%	98,830人
大学生・専門学校生	12,571人	112.8%	11,147人
高校生、都外中学生	3,403人	106.5%	3,194人
65歳以上	30,428人	89.7%	33,906人
無料観覧者 (小学生、都内中学生、 教育活動等)	94,737人	94.8%	99,970人
合 計	237,901人	96.3%	247,047人
1日あたり観覧者数	763人	96.1%	794人

① 収蔵建造物の展示

- ・ 30棟の復元建造物内の展示により、江戸東京の生活や商いの諸相を明らかにする。
- ・ 季節ごとに演示品や建具の展示替えを行った。

② 情景再現事業

来園者に復元建造物の歴史的価値をより深く理解いただくため、季節ごとの催しとして、春「こどもの日イベント」、夏「下町夕涼み」、秋「紅葉とたてもののライトアップ」などの各イベントを行った。

・ こどもの日イベント

内 容 おつかいゲーム、ベーゴマ大会、兜・風車づくりなど、昭和中期における子供の遊びを演出した。

期 間 平成28年5月4日(水・祝)・5日(木・祝)

会 場 園内全体

参加者数 8,207人(当日来園者)

・ 小暑のつどい

内 容 七夕の折り紙講座や短冊に願いごとを書き込むなど、昭和中期における初夏の風情を演出した。

期 間 平成28年7月2日(土)・3日(日)

会 場 西ゾーン・吉野家、東ゾーン・下町中通りなど

参加者数 1,677人(当日来園者)

・ 下町夕涼み

内 容 盆踊り、こども神輿、夜店など、昭和中期における東京下町地域の夏祭りや夕涼みの風情を演出した。

期 間 平成28年8月6日(土)・7日(日)

会 場 園内全域

参加者数 10,959人(当日来園者)

- ・体験！発見！職人さん

内 容 東京の伝統工芸士を講師とする体験、見学プログラムによって伝統工芸の理解を促した。

期 間 平成28年10月8日（土）・9日（日）

会 場 東ゾーン

参加者数 1,475人（当日来園者）

- ・紅葉とたてもののライトアップ

内 容 園内建造物の照明を灯し、外壁にやわらかな光を当て、夜のたてもの園という非日常的空間を演出した。

期 間 平成28年11月25日（金）・26日（土）・27日（日）

会 場 園内全域

参加者数 6,774人（当日来園者）

- ・正月飾りづくり

内 容 藁を使った注連縄をつくり、農村の暮らし体験の機会を提供した。

期 間 平成28年12月17日（土）・18日（日）

会 場 東ゾーン

参加者数 32人（事業参加者）

- ・正月の昔あそび

内 容 書き初め、双六、福笑いなどの遊びとお囃子など、正月にふさわしい催しを実施した。

期 間 平成29年1月7日（土）・8日（日）

会 場 園内全体

参加者数 2,333人（当日来園者）

- ・たてもの園フェスティバル

内 容 「けんちく体操」やスタンプラリーなど、建造物に親しむ講座等を実施した。

期 間 平成29年3月20日（月・祝）

会 場 園内全体

参加者数 2,207人（当日来園者）

- ・伝統工芸の実演

内 容 復元建造物内で、現代東京に伝わる各種の伝統工芸の製作実演を行い、職人の手わざを体感できるようにした。

実施項目 東京手描友禅／竹工芸／和裁縫／螺鈿蒔絵／べっ甲細工／念珠／江戸更紗染／三味線／つりしのぶ／型小紋／とんぼ玉／木工建具／和裁（帯）／和裁／日本刺繍／足袋仕立／鋳金具／籐工芸／村山大島紬／江戸提灯／江戸べっ甲／曲物／着物仕立

期 間 平成28年4月～平成29年3月のうち24日間

会 場 江戸東京たてもの園 植村邸、川野商店他

・ 綱島家年中行事

内 容	世田谷区岡本に立地していた復元建造物「綱島家」を舞台に、農家の年中行事を再現した。
実施項目	梅干しづくり／盆、梅の土用干し／十五夜飾り／十三夜飾り／大根干し／小正月／繭玉飾り／節分
期 間	平成28年4月～平成29年3月
会 場	江戸東京たてもの園 綱島家他

・ ちょっと涼しいたてもの園

内 容	伝統的な「涼」のとり方から、ミストシャワーまで、暑い夏をのりきる暮らしの工夫を体感できるよう演出した。
実施項目	夏仕様の建具／風鈴の展示／日傘の貸し出し／打ち水／グリーンゲートの設置／ミストシャワーなど
期 間	平成28年7月26日（火）～9月4日（日）
会 場	江戸東京たてもの園 川野商店、花市生花店、西川家別邸、八王子千人同心組頭の家他

③復元建造物の管理・保全

復元建造物の日常的な点検、復元建造物の修繕工事、建造物の燻蒸、展示清掃、襖・障子・畳の替え工事及び劣化調査等を実施した。

④教育普及事業【ミュージアムトーク】

学芸員による展示解説。毎月1回（第4土曜日）に実施。復元建造物や特別展について詳しく紹介した。

〔内 容〕

- 4月23日（土）：特別展「小金井の桜」みどころ 丸山はるか（学芸員）
- 5月28日（土）：縄文時代の丸木舟 松井かおる（学芸員）
- 6月25日（土）：看板建築の商店 阿部由紀洋（学芸員）
- 7月2日（土）・3日（日）：七夕トークと草むしり 友野千鶴子（学芸員）
- 7月22日（金）・23日（土）：人の一生と家の使われ方 友野千鶴子（学芸員）
- 8月26日（金）・27日（土）：東京のたてものと文学 湯川説子（学芸員）
- 9月23日（金）・24日（土）：民家の間取りと格式 米山勇（研究員）
- 10月22日（土）：鉄道の歴史と都電 眞下祥幸（学芸員）
- 11月26日（土）：川野商店 丸山はるか（学芸員）
- 12月24日（土）：大川邸とクリスマス 友野千鶴子（学芸員）
- 1月28日（土）：子宝湯と東京の銭湯 米山勇（研究員）
- 2月25日（土）：特別展「川崎平右衛門」みどころ 眞下祥幸（学芸員）
- 3月20日（月・祝）：享保の改革と川崎平右衛門 眞下祥幸（学芸員）
- 3月28日（土）：万世橋交番 阿部由紀洋（学芸員）

⑤ 教育普及事業【ミュージアムセミナー たてもの園セミナー】

10月7日（金） 建築博物館を楽しもう！①

「国立近現代建築資料館—その役割と楽しみ方—」

講師：山名 善之 参加者：62名

10月21日（金） 建築博物館を楽しもう！②

「海外の事例に学ぶ—イギリス、アメリカの建築博物館事情—」

講師：阿部 由紀洋・田中 裕二・米山 勇 参加者：57名
11月4日(金) 建築博物館を楽しもう!③
「明治村からたてももの園へーライバルへのメッセージ」
講師：中川 武・米山 勇 参加者：81名

⑥ 教育普及事業【スクールプログラム】

「昔暮らし体験」「職場体験学習」等を実施した。

・昔暮らし体験

園内茅葺き民家内などで、石臼での粉ひきや火鉢体験、昔の道具探しなどを実施した。

参加人数 45校 3,783人

・職場体験学習

参加人数 4校 12人

⑦ 教育普及事業【子供向け教育普及事業】

・情景再現事業の中で子供向け教育普及事業を実施した。

「七夕のつどい」 折り紙教室

「体験!発見!職人さん」 左官体験

「たてももの園フェスティバル」 たてもものストラップづくり、たてもものスタンプラリー 他

⑧ その他の事業

【ビジターセンター展示】

・小金井公園の桜写真展

平成28年3月22日(火)～5月22日(日) 8,275人

・日本全国 記念貨幣・切手展

平成28年8月2日(火)～14日(日) 1,649人

・小金井薪能写真展

平成28年8月16日(火)～28日(日) 651人

・江戸東京でおもてなし

平成28年11月25日(金)～12月4日(日) 766人

・東京くらしの木 檜と杉展

平成28年12月6日(火)～平成29年1月15日(日) 3,489人

※導入展示のリニューアルに向けての準備を実施

【東京大茶会2016】

平成28年9月24日(土)・25日(日) 入園者数10,074人

【正月イベント】

平成29年1月2日(月)・3日(火) 入園者数8,857人

(2) 展覧会

① 小金井の桜

会期：平成 28 年 4 月 1 日（金）～5 月 8 日（日）

入園者数：45,304 人

（平成 27 年度分会期：3/8～3/31 全会期入園者数：68,380 人）

桜の開花シーズンに合わせ、桜と花見にまつわる美術、工芸資料など、江戸東京博物館コレクション約 100 点を展示替えしながら紹介した。江戸東京における花見の名所を取り上げると共に、花見に関する風俗・習慣に触れた展示内容は、時宜にかなったものとして好評を得た。小金井市の文化施設などでのチラシ配布など、地域と連携した広報活動も行った。

② 武蔵野の歴史と考古学－江戸東京たても園収蔵品展－

会期：平成 28 年 5 月 24 日（火）～平成 29 年 1 月 22 日（日）

入園者数：145,549 人

園が収蔵する旧武蔵野郷土館資料のうち、都内を中心に縄文時代の遺跡から出土した埋蔵文化財資料を編年的に展示した。その中で縄文後期から晩期の丸木舟に注目したコーナーを設け、首都大学東京考古学研究室が行なった丸木舟復元実験の記録映像を公開すると共に、製作のために復元した石斧も展示し、展示物の理解を深めるように工夫した。また、国指定重要文化財・土製耳飾の展示も行った。あわせて、復元した石斧を使って木を削る体験や、「縄文時代の丸木舟」と題した講演会を開催するなど多角的に事業を展開し、資料の魅力をさらに引き出した。

③ 川崎平右衛門－武蔵野新田開発の立役者

会期：平成 29 年 2 月 7 日（火）～3 月 31 日（金）

入園者数：32,494 人

（平成 29 年度分会期：4/1～5/7 全会期入園者数：81,570 人）

江戸時代、農政家として活躍した川崎平右衛門の生涯をとり上げた。自らの能力で、武蔵野の村名主から幕臣となり、多方面で成果を挙げた平右衛門の生涯を振り返り、近世日本の農村経営や土木技術、柔軟な人材登用のあり方などを紹介した。また、地域の発展に尽くした先人の具体的事例として、近隣の小学校の副読本でも紹介されるこの人物を取り上げることで、学校教育との連携を深めることもできた。

Ⅱ 特別展示

「3T戦略」(Target 対象入館者、Timeliness 時宜、Top of sales point 目玉資料)のもと、時代やジャンルなどバラエティー豊かなラインナップの特別展を開催し、新たな来館者層の開拓を目指した。

また、日頃の調査研究の成果と充実した収蔵品を紹介した特別展では、江戸博の独自性をアピールすることができた。運営面では、関連事業やタイアップ企画の実施、各種チケットの販売、協力金方式による収入率アップなど、コスト意識を踏まえて事業を推進した。

平成28年度の特別展は、延べ247日間の会期に計593,081人の観覧者を迎えることができた。

1 日伊国交樹立150周年記念特別展「レオナルド・ダ・ヴィンチ — 天才の挑戦」展

期 間	平成28年4月1日（金）～平成28年4月10日（木）延べ9日間 *全体の会期は、平成28年1月16日（土）～4月10日（日）延べ76日間
会 場	1階 特別展示室
主 催	公益財団法人東京都歴史文化財団 東京都江戸東京博物館、毎日新聞社、NHK、NHKプロモーション
後 援	外務省、イタリア文化財・文化活動・観光省、イタリア大使館、ブリティッシュ・カウンシル、スポーツニッポン新聞社
特別協賛	大和ハウス工業
協 賛	損保ジャパン日本興亜、日本写真印刷、みずほ銀行
協 力	全日本空輸、アリタリアーイタリア航空
特別協力	レオナルド・ダ・ヴィンチ理想博物館
内 容	2016年は、日伊国交樹立150周年（修好通商条約締結150年）にあたり、本展はその記念事業として開催した。 レオナルド・ダ・ヴィンチ『鳥の飛躍に関する手稿』（トリノ王立図書館所蔵）は、レオナルドファンのあいだで最も有名な直筆ノートのひとつであり、日本初公開であった。また、円熟期の傑作「糸巻きの聖母」も日本初公開となった。 観察し素描することによって自然や人間、宇宙の真理に近づこうとしたレオナルドは、建築や都市造りにも興味を持ち、「理想都市」を追い求め、都市計画も構想した。展覧会ではレオナルドの素描、レオナルデスキ（レオナルド派）の絵画作品も出品し、彼の思考を探った。
観 覧 料	一般 1,450円、大学・専門学校生 1,160円、 小中高校生・65歳以上 730円
入場者数	44,678人（1日平均 4,964人）
担 当	齋藤 慎一（事業企画課 展示企画係）

2 2016年NHK大河ドラマ特別展「真田丸」

期 間	平成28年4月29日（金）～平成28年6月19日（日）延べ47日間
会 場	1階 特別展示室
主 催	公益財団法人東京都歴史文化財団 東京都江戸東京博物館、NHK、NHKプロモーション
協 賛	日本写真印刷、ハウス食品グループ本社、みずほ銀行
特別協力	大阪城天守閣、真田宝物館（長野市）
内 容	本展は平成28年のNHK大河ドラマ「真田丸」と連動して開催した。徳川家康が天下を確定した戦い「大坂冬の陣・夏の陣」において、大坂方の中心人物の一人として活躍した真田信繁（幸村）ゆかりの品々や同時代の歴史資料を展示した。 信濃国（長野県）上田城主であった真田家は、戦国を生き残るため、織田、北条、徳川、上杉とめまぐるしく主君を変え、関ヶ原の戦い、大坂の陣を戦った。これら主君や合戦に係る歴史資料を展示するとともに、当時の武将たちが愛した桃山文化に関する資料も展示し、奥行きある内容となった。
観 覧 料	一般1,350円、大学・専門学校生1,080円、高校生・65歳以上680円
入場者数	111,775人（1日平均 2,378人）
関連イベント	
	（1）NHKネットクラブ特別鑑賞会（600組1,200名） 日時：6月13日（月）1回目 10時30分、2回目 12時～、3回目 13時30分～、 場所：東京都江戸東京博物館 1階 特別展示室 参加費：無料（事前応募・抽選） 参加者数：936人
	（2）みずほプレミアム会員内覧会（計600組1,200名） 日 時：6月6日（月）9時30分～、11時30分～、12時30分～、13時30分～、 14時30分～、15時30分～。 場 所：東京都江戸東京博物館 1階 特別展示室 参加費：無料（事前応募・抽選） 参加者数：1,152人
担 当	田原 昇（事業企画課 展示企画係）

3 「大妖怪展 土偶から妖怪ウォッチまで」展

期 間	平成28年7月5日（火）～平成28年8月28日（日）延べ50日間
会 場	1階 特別展示室
主 催	公益財団法人東京都歴史文化財団 東京都江戸東京博物館、読売新聞社
協 賛	野崎印刷紙業
後 援	TBSラジオ
協 力	妖怪ウォッチ製作委員会
内 容	本展は、江戸時代に量産された妖怪図を中心に、古代・中世から連綿と日本で作られてきた異形のものたちの姿を、国宝や重文など、一級の美術品によって紹介した。これまで、歴史学や民俗学からの視点で構成された展覧会はあったが、これは初の美術展として位置付けることができ

る。また、夏休み企画にふさわしく、現在子供達に大人気の妖怪キャラクター「妖怪ウォッチ」も展示や販売グッズに取り入れて、幅広い層に支持される展覧会となった。

観覧料 一般1,350円、大学・専門学校生1,080円、小中高校生・65歳以上680円
入場者数 217,674人（1日平均 4,353人）

関連イベント

（1）妖怪イベント（各400名）

日時：7月23日（土）

①16時30分開場、17：00開演 怪談三景

②19：30～20：30 展覧会貸切鑑賞（公演前にも展覧会鑑賞可）

会場：①江戸東京博物館ホール ②1階 特別展示室

参加費：一般4,500円

定員：446人 ※全席指定

参加者数：421人

担当 我妻 直美（事業企画課 展示企画係）

4 「よみがえれ！ シーボルトの日本博物館」展

期間 平成28年9月13日（火）～平成28年11月6日（日）延べ49日間

会場 1階 特別展示室

主催 公益財団法人東京都歴史文化財団 東京都江戸東京博物館、朝日新聞社
企画連携 人間文化研究機構 国立歴史民俗博物館

特別協力 ミュンヘン五大陸博物館、ブランデンシュタイン=ツェッペリン家

協力 全日本空輸

後援 日本赤十字社

内容 江戸時代の鎖国下、オランダ商館付医官として長崎出島に赴任したシーボルトは、膨大な日本コレクションを形成し、ヨーロッパへと持ち帰った。

本展は、5年間にわたる海外調査で得られた新成果から、シーボルトが日本の文化・社会をどのように考究したのかを紹介したものである。シーボルトが第2回目の来日時（1859年〈安政6〉）に収集した文物を保管するミュンヘン五大陸博物館から、精選した約300点を里帰りさせた。シーボルト日本コレクションをとおして、19世紀における日本とヨーロッパの異文化交流について振り返り、今後の日欧関係の構築の一助となった。

観覧料 一般1,400円、大学・専門学校生1,120円、小中高校生・65歳以上700円

入場者数 46,100人（1日平均 941人）

担当 小林 淳一（副館長）

田原 昇（事業企画課 展示企画係）

5 「戦国時代」展

期間 平成28年11月23日（水）～平成29年1月29日（日）延べ56日間

会場 1階 特別展示室

主催 公益財団法人東京都歴史文化財団 東京都江戸東京博物館、読売新聞社
日本テレビ放送網、BS日テレ

協賛 日本写真印刷

内 容 戦国時代とは、15世紀後半に関東で始まった「享徳の乱」および京で勃発した「応仁・文明の乱」をきっかけに始まり、その後16世紀後半に至るまで続いた時代である。この時代、政治的な中央集権が次第に薄れ、上杉謙信、武田信玄、毛利元就などの大名たちはそれぞれの地方で、領国経営に力を入れた。その過程で、絵画や建築、そして茶の湯など、京都で成熟した文化は列島各地へもたらされ、新たな地域文化として再生産された。さらに戦国大名だけに限らず、職商人などの都市民や村落住民までもその文化が広がり、多様な人々がさまざまな技術や知識を蓄えるようになった。戦国時代は列島規模で各地に大きな文化的、経済的な実りをもたらした時代といえることができる。

本展では戦国時代に列島の各地で生成された歴史資料や美術工芸品を一堂に展示し、多様な広がりを見せる時代を叙述しつつ、逞しく躍動した人々の姿を追った。新たな戦国時代像を描くこの展覧会が、様々な困難に直面する私たちに対して、豊かな未来を創造する活力となることを目指した。

観 覧 料 一般1,350円、大学・専門学校生1,080円、小中高校生・65歳以上680円
入場者数 140,134人（1日平均 2,502人）

関連イベント

(1) JR大人の休日倶楽部 貸切鑑賞会（各名）

日時：12月19日（月） 9:00～15:30

会場：1階 特別展示室

参加費：無料

参加者数：578人

(2) 講演会・パネルディスカッション「いざ！戦国時代展へ!!」

日時：12月25日（日） 14:00～17:00

会場：1階 ホール

参加費：無料

参加者数：165人

担 当 齋藤 慎一（事業企画課 展示企画係）

6 「江戸と北京-18世紀の都市と暮らし」展

期 間 平成29年2月18日（土）～平成29年3月31日（金）延べ36日間

*全体の会期は、平成29年2月18日（土）～4月9日（日）延べ44日間

会 場 1階 特別展示室

主 催 公益財団法人東京都歴史文化財団 東京都江戸東京博物館、朝日新聞社、中国文物交流中心、故宮博物院、首都博物館

後 援 外務省、中国大使館、中国人民対外友好協会

企画協力 黄山美術社

協 力 全日本空輸

内 容 江戸の人口が100万人を超えた18世紀は、北京が清朝の首都として最も繁栄を極めた時代で、当時の世界の各都市と江戸をグローバルな視点で比較、検討することは重要といえよう。

本展では、アジア世界の安定期ともいえる18世紀を中心に、都市・江戸と北京の歴史や生活・文化を展覧し、比較した。これまで清朝の芸術や宮廷文化に関する展覧会は数多く開かれてきたが、北京の都市生活を江

戸と比較する企画は初めてであった。共通性と差異を明らかにすることで、それぞれの文化と両国の相互理解を深め、両都市の未来と友好を考える契機とした。なお、北京首都博物館との共同研究に基づく交流展覧会であるため、東京にて本展を開催後、北京でも江戸の資料を中心とした展覧会を開く。

観覧料 一般1,400円、大学・専門学校生1,120円、小中高校生・65歳以上700円
 入場者数 32,720人（1日平均 909人）

関連イベント

（1）ブロガー特別内覧会

日時：3月15日（水） 18:30～20:00

会場：1階 特別展示室

参加費：無料

参加者数：83人

担 当 江里口 友子（事業企画課 展示事業係）

杓沢 博行、窪田 直子、胡艶紅（都市歴史研究室）

Ⅲ 資料収集

1 資料収集

貴重な文化遺産を継承していくため、東京都と調整を図りながら厳選した資料収集を行った。

平成28年度は、資料収蔵委員会（収集部会・評価部会）を2回開催し、第1回目（11月11日）では購入資料を、第2回目（1月31日）では主に寄贈資料を付議した。

（1）平成28年度資料収集点数 （単位：点）

区 分	購 入	寄 贈	その他	計
標 本 資 料	178	415	1	594
図 書 資 料	637	298	3,696	4,631
映像音響資料	17	262	0	279
合 計	832	975	3,697	5,504

（2）主な収集資料（寄贈資料より）

分 類	資 料 名
絵画・書 跡・工芸品	会水庵関係茶道具 50点
書跡・典 籍・文書類 他	村高家資料 309点
典籍	東京五輪に関する外国の雑誌記事スクラップ
印刷物	CITY MAP CENTRAL TOKYO(GHQ 東京占領地図)
印刷物	本山彦一旧蔵 東京の地図 9点
印刷物	自動車ガイドブック 22点

生活民俗	江戸城の用材を利用した神札 2点
生活民俗	家庭用小型氷削り器
生活民俗	電気アイロン NI-39A (グッドデザイン賞受賞)
音響・図書	東京空襲を記録する会旧蔵資料 559点

2 資料制作

常設展示「現代の東京 都市問題への対応」で展示するため「回覧（ごみ容器による定時収集作業実施のお知らせにつき）」（当館蔵）の1件（2点）の複製資料を製作した。

3 収蔵品の購入

常設展・企画展・特別展に有効に利用される資料、及び利用頻度が高く保全面で留意する必要がある資料を優先し、資料総体の消耗を防ぎつつ、魅力ある博物館運営が図れるよう、資料を購入した。

〔主な購入資料〕

分類	資料名
絵画	市川鰈蔵の竹村定之進 東洲斎写楽／画
絵画	歌撰恋之部 物思恋 喜多川歌麿／画
絵画	讃岐院眷属をして為朝をすくふ図 歌川国芳／画
工芸品	縹縷子地菊折枝唐扇模様打掛
典籍	東インド会社遣日使節紀行（日本誌 蘭語版） モンタヌス／著
典籍	日本 国際文化振興会／発行
印刷物	駕籠に乗れる美女
文書類	薩摩藩士仙波家文書
文書類	米屋田中家文書
静止画	中央停車場建築（東京駅建設写真）

IV 資料管理・保全

1 資料管理・保全

(1) 資料の修理

36点の修理を行った。

〔内 訳〕

資料分類	点数	資料分類	点数
標本資料	35	図書資料	1
絵画	1	図書	1
工芸品	2		
文書類	29		
典籍類	3		

(2) 資料の収蔵

平成29年3月末日現在、607,453点（データ点数）を収蔵、管理している。

【内 訳】

標本資料	320,267点
映像音響資料	42,065点
図書資料	245,121点

(3) 資料の貸出

平成29年3月末日現在、博物館等の依頼に応じて、26件（181点）の資料を貸し出した。

(4) 寄託資料の更新

9件、20,353点の寄託資料の更新を行った。

2 コンピュータシステムの運営

資料の収集から資料の各種事業(常設・企画展示、調査研究、資料のメンテナンス、貸出等)への活用までを支援するとともに、来館者に対して図書室の端末等により資料の情報を文字と画像で提供するため、コンピュータシステム(資料情報システム)の管理及び運用を行った。

V 調査・研究

1 都市歴史研究室における研究テーマ

- (1) 年間特定研究「隅田川流域の歴史と文化 隅田川流域」
- (2) 共同研究
 - ① 比較都市研究 江戸と大坂（大阪歴史博物館との共同研究）
 - ② 在外日本コレクションの所在調査（国立歴史民俗博物館との共同研究）
- (3) 基盤研究
 - ① 小林淳一 モースコレクション調査の現状と課題
 - ② 市川寛明 米屋田中家文書の日光社参関係資料について
 - ③ 小山周子 小林清親「東京江戸橋之真景」の版木について
 - ④ 沓沢博行 人形師松本喜三郎関係写真について
 - ⑤ 朴 美姫 「朝鮮通信使行列図絵巻」について

2 書籍の編集・刊行

(1) 『調査報告書 第32集』の刊行

名 称 『隅田川流域を考える ー歴史と文化』

発行年月日 平成29年3月30日

発行部数 1,000部

構 成

1. カラー口絵

2. 論考

沓沢 博行「問題提起」

竹内 誠「聖空間としての隅田川」

小山周子「隅田川流域の料理茶屋における文化活動について」

福澤徹三「スポンサーから見る墨田川の花火ー江戸から現代まで」

陣内秀信「セーヌ川、テムズ川との比較の視点からみた隅田川の特質」

3. 江戸東京博物館所蔵 隅田川流域関係資料リスト（市川寛明）

(2) 『東京都江戸東京博物館紀要 第7号』の刊行

発行年月日 平成29年3月27日

発行部数 1,500部

構 成

1. 沓沢博行「松本喜三郎「浮世見立四十八曲」生人形の写真について」

2. 松井かおる・阿部由紀洋「平成27年度 米国野外博物館への現地調査報告
ー野外収蔵施設の修復を中心に」

3. 行吉正一「東京を描いた詩について ー2

えどはくカルチャー「詩の東京（全9回）実施報告（第5回から第9回）」

4. 朴美姫「一六八二年（天和二）の朝鮮通信使

ー小野等林筆「朝鮮通信使行列絵巻」の紹介ー」

5. 市川寛明「人宿米屋田中家の日光社参行列の請負について

ー寛政十二年「日光御登山御道中御用向諸事一件留」の紹介ー

(3) 『江戸東京博物館史料叢書 勝海舟関係資料 海舟日記（六）』

発行年月日 平成29年3月31日

発行部数 600冊

構 成

「海舟日記 十」 (明治5年正月15日～同7年正月20日)

「海舟日記 十一」 (明治7年正月21日～同8年5月14日)

解説 (落合則子)

人名索引

VI 図書室等の運営

博物館資料として収集した図書の保存及び来館者への閲覧、レファレンスサービスを行った。

閉室期間中 (28年12月13日 (火)～同年12月25日 (日)) は、蔵書整理、開架書籍の入替えなどを実施した。

1 図書室利用状況

入室者数	36,790人
閉架図書請求数	2,147冊
マイクロフィルム請求数	414件
図書複写申請数 (モノクロ)	9,401枚
図書複写申請数 (カラー)	1,164枚
マイクロフィルム複写申請数	7,534枚
レファレンス対応数	1,729件
インフォメーション対応数	1,936件
WEB-OPAC検索利用数	1,446,985件
ALC検索利用数	96,830件

2 夏休み！こども歴史学習相談

夏休みの自由研究や調べ学習に関するレファレンス対応を図書室で行った。実施にあたっては専用書架を設け、図書リストを作成し、事前周知を行った。

期 間 平成28年7月16日 (土)～9月4日 (日)

対応人数 583人

3 図書室内ミニ展示

図書室が所蔵する資料から、話題性のあるテーマで特集展示を計4回行った。

展示テーマ	会 期	担 当
過激にして愛嬌ありー宮武外骨の雑誌	～4月26日	楯石もも子 (司書)
語り継がれる真田のものがたり	4月29日～6月19日	井上美奈子 (司書)
花森安治と『暮しの手帖』	8月2日～9月30日	楯石もも子 (司書)

モダンをつくった“商業美術”	10月8日～1月29日	小宮山めぐみ(司書)
生誕150周年 南方熊楠	2月1日～3月31日	式 淳子(司書)

4 特集図書コーナー

企画展・特別展や時事に合わせて図書の特集コーナーを設置した。

特集テーマ	会 期	担 当
特別展「レオナルド・ダ・ビンチ 天才の挑戦」	1月16日～4月10日	上杉 海(司書)
特別展「真田丸」	4月29日～6月19日	井上美奈子(司書)
特別展「大妖怪展 土偶から妖怪ウォッチまで」	7月5日～8月28日	楯石もも子(司書)
特別展「よみがえれ!シーボルトの日本博物館」	9月13日～11月6日	小宮山めぐみ(司書)
特別展「戦国時代」	1月16日～4月10日	栗原智久(司書)
特別展「江戸と北京 18世紀の都市と暮らし」	2月18日～4月9日	式 淳子(司書)
企画展「近代百貨店の誕生 三越呉服店」	3月19日～5月15日	楯石もも子(司書)
企画展「発掘された日本列島2016」	6月4日～7月24日	上杉 海(司書)
企画展「伊藤晴雨 幽霊画展」	8月11日～9月25日	式 淳子(司書)
企画展「山岡鉄舟と江戸無血開城」	1月2日～2月21日	栗原智久(司書)
企画展「徳川将軍家の婚礼」	1月2日～2月19日	井上美奈子(司書)
企画展「戦時下東京のこどもたち」	3月18日～5月7日	小宮山めぐみ(司書)
特集「隅田川流域を考えるー歴史と文化」	3月5日～3月31日	井上美奈子(司書)
特集「夏休み!こども歴史学習相談」	7月16日～9月4日	栗原智久(司書)
特集「和装本」	7月16日～9月4日	楯石もも子(司書)

Ⅶ 教育普及

1 えどはくカルチャー

都市歴史研究室が行っている調査研究活動の成果をわかりやすく解説する講座、特別展・企画展の関連講座、合計91講座を開催した。

期 間	平成28年4月6日（水）～平成29年3月24日（金）
会 場	江戸東京博物館（ホール、会議室）
受 講 料	各講座 一般 1,000円（一部例外あり、セット割引あり） 友の会、ボランティア 800円（同上）
受講者数	12,319人
講 座 数	91講座

春講座 計 22 回(3,850 人) ※イタリックは外部講師

回数	実施日	講 座 名	講 師	参 加 人 数
1	4月6日(水)	三越展関連講座①三越趣味の創出	神野由紀	129
2	4月13日(水)	三越展関連講座②「近代百貨店の誕生 三越呉服店」展のみどころ	田中裕二	108
3	4月14日(木)	絵で読む『東都歳事記』①春	小山周子	163
4	4月20日(水)	たてもの鑑賞基礎の基礎Ⅲ①間取りを見る その2・住宅編	米山 勇	188
5	4月21日(木)	浮世絵師列伝Ⅴ①歌川広重 一名所風景画の名人―	小澤 弘	217
6	5月10日(火)	実像 江戸の町 ―四谷塩町一丁目を事例に―①	市川寛明	110
7	5月11日(水)	たてもの鑑賞基礎の基礎Ⅲ②様式を見る ―日本建築・西洋建築・クラシック音楽― その1	米山 勇	185
8	5月12日(木)	浮世絵師列伝Ⅴ②溪斎英泉 ―当世風俗の美人画家―	小澤 弘	190
9	5月19日(木)	絵で読む『東都歳事記』②夏	小山周子	147
10	5月20日(金)	江戸時代の旅と講①伊勢詣	沓沢博行	195
11	5月24日(火)	実像 江戸の町 ―四谷塩町一丁目を事例に―②	市川寛明	99
12	5月26日(木)	特別展「真田丸」関連講座①再考 真田三代について	降幡浩樹	272
13	6月1日(水)	③様式を見る ―日本建築・西洋建築・クラシック音楽― その2"	米山 勇	204

14	6月2日(木)	特別展「真田丸」関連講座②大坂の陣と真田丸の攻防	大澤研一	294
15	6月8日(水)	企画展関連講座「復興の歴史を掘る」①日本列島のなりたちと災害	桂 雄三	127
16	6月9日(木)	特別展「真田丸」関連講座③江戸時代と「真田幸村」伝説	田原 昇	229
17	6月15日(水)	企画展関連講座「復興の歴史を掘る」②洪水からの復興～弥生時代	江浦 洋	121
18	6月16日(木)	浮世絵師列伝Ⅴ③歌川国貞(三代豊国) 一役者も美人も一	小澤 弘	197
19	6月22日(水)	企画展関連講座「復興の歴史を掘る」③火山災害からの復興～古墳時代・古代	能登 健	119
20	6月24日(金)	江戸時代の旅と講②大山詣	沓沢博行	206
21	6月29日(水)	企画展関連講座「復興の歴史を掘る」④貞観地震からの復興～古代	斎野裕彦	145
22	6月30日(木)	浮世絵師列伝Ⅴ④歌川国芳 一愛猫家の浮世絵師一	小澤 弘	205

夏講座 計22回(2,792人)

回数	実施日	講座名	講師	参加人数
23	7月6日(水)	企画展関連講座「復興の歴史を掘る」①戦乱からの復興～中世	立石 堅志	95
24	7月13日(水)	企画展関連講座「復興の歴史を掘る」②江戸時代の災害と復興	北原 糸子	128
25	7月14日(木)	『東都歳事記』を読むⅡ	小山 周子	150
26	7月15日(金)	特別展「大妖怪展」関連講座 妖怪画の系譜	安村 敏信	127
27	7月20日(水)	企画展関連講座「復興の歴史を掘る」③総論・復興の歴史を活かす	青柳 正規	108
28	7月29日(金)	江戸のシェア①時空のシェア……長屋	近松 鴻二	256
29	8月9日(火)	和楽器を体験! 水道管尺八	田嶋 謙一 川村 葵山	22
30	8月10日(水)	和綴じ本を作ってみよう! ①	楯石もも子	19
31	8月10日(水)	和綴じ本を作ってみよう! ②	楯石もも子	17
32	8月18日(木)	江戸町人の食事情①行事と儀礼の食	沓沢 博行	205
33	8月24日(水)	江戸時代の物語絵を見る①源氏絵を見る	本田 光子	142

34	8月25日(木)	江戸時代の物語絵を見る②伊勢絵を見る	本田 光子	124
35	8月26日(金)	江戸のシェア②共同使用……井戸・惣後架(そうこうか)・湯屋(ゆや)	近松 鴻二	240
36	9月8日(木)	新・日本建築家列伝「ル・コルビュジエと日本」①ル・コルビュジエと日本への影響	米山 勇	169
37	9月13日(火)	プレ古文書講座『天保改革町触史料』を読む①	市川 寛明	103
38	9月14日(水)	東條琴臺と江戸の学問①漢学者東條琴臺とその学問	石山 秀和	58
39	9月15日(木)	新・日本建築家列伝「ル・コルビュジエと日本」②対談「コルビュジエと建築・都市・日本」	米山 勇 山名 善之	168
40	9月20日(火)	プレ古文書講座『天保改革町触史料』を読む②	市川 寛明	90
41	9月21日(水)	東條琴臺と江戸の学問②東條琴臺と江戸文人社会	石山 秀和	55
42	9月28日(水)	長崎学連携講座 「江戸天下祭」と「長崎くんち」―出し物の比較を中心に―	福原 敏男 本馬 貞夫	88
43	9月29日(木)	江戸町人の食事情②日常の食と素材	沓沢 博行	223
44	9月30日(金)	江戸のシェア③自治組織……「町」	近松 鴻二	205

秋講座 計 24 回(2,708 人)

回数	実施日	講座名	講師	参加人数
45	10月5日(水)	特別展「よみがえれ！シーボルトの日本博物館」関連講座①シーボルト・コレクションにおける絵画作品	大久保純一	115
46	10月6日(木)	浮世絵師列伝VI①西川祐信 ―上方絵の第一人者―	小澤 弘	128
47	10月7日(金)	江戸東京たてもの園セミナー「建築博物館を楽しもう！」① 国立近現代建築資料館―その役割と楽しみ方―	山名 善之	62
48	10月12日(水)	"特別展「よみがえれ！シーボルトの日本博物館」関連講座②シーボルトのコレクションと地図	青山 宏夫	121
49	10月13日(木)	特別展「よみがえれ！シーボルトの日本博物館」関連講座③シーボルト・コレクションにおける漆工芸	日高 薫	92
50	10月14日(金)	江戸名所のことばとかたち①富士筑波のことばとかたち ―江戸の境界―	井田 太郎	135
51	10月19日(水)	特別展「よみがえれ！シーボルトの日本博物館」関連講座④再来日時の日記にみえるシーボルト・コレクション	石山 禎一	100

52	10月20日(木)	浮世絵師列伝VI②流光斎如圭 一上方役者絵の元祖一	小澤 弘	108
53	10月21日(金)	江戸東京たてもの園セミナー「建築博物館を楽しもう！」②海外の事例に学ぶーイギリス、アメリカの建築博物館事情ー	阿部由紀洋 田中 裕二 米山 勇	57
54	10月25日(火)	日光社参と江戸の人材派遣業①	市川 寛明	112
55	10月28日(金)	特別展「よみがえれ！シーボルトの日本博物館」関連講座⑤書簡が語るシーボルト像	宮坂 正英	89
56	11月2日(水)	特別展「よみがえれ！シーボルトの日本博物館」関連講座⑥シーボルトの日本博物館構想と川原慶賀筆『人物画帳』	小林 淳一	113
57	11月4日(金)	江戸東京たてもの園セミナー「建築博物館を楽しもう！」③明治村からたてもの園へーライバルへのメッセージー	中川 武 米山 勇	81
58	11月8日(火)	日光社参と江戸の人材派遣業②	市川 寛明	106
59	11月10日(木)	企画展「市民からのおくりもの2016」関連講座将軍家の婚礼と婚礼道具 一姿見鏡が映す大奥の世界	畑 尚子	37
60	11月17日(木)	浮世絵師列伝VI③五雲亭貞秀 一空飛ぶ浮世絵師一	小澤 弘	137
61	11月18日(金)	江戸名所のことばとかたち②日本橋のことばとかたち 一江戸の中央一	井田 太郎	129
62	12月1日(木)	浮世絵師列伝VI④河鍋暁斎 一奇想の画鬼一	小澤 弘	162
63	12月6日(火)	プレ古文書講座『天保改革町触史料』を読むII①	市川 寛明	108
64	12月7日(水)	天下祭とは何か？①天下祭と江戸の町人文化	滝口 正哉	172
65	12月14日(水)	天下祭とは何か？②神田祭の昔と今 一祭礼文化の持続と変容一	岸川 雅範	151
66	12月16日(金)	江戸名所のことばとかたち③隅田川のことばとかたち 一江戸の記憶一	井田 太郎	129
67	12月20日(火)	プレ古文書講座『天保改革町触史料』を読むII②	市川 寛明	103
68	12月21日(水)	天下祭とは何か？③天下祭と職人	齊藤 照徳	161

新春講座 23回(2,969人)

回数	実施日	講座名	講師	参加人数
69	1月6日(金)	特別展「戦国時代展-A Century of Dreams-」関連講座①戦国時代庭園の諸相ー儀礼の庭・社交の庭・信仰の庭ー	仲 隆裕	151
70	1月11日(水)	企画展「徳川将軍家の婚礼」関連講座①「徳川将軍家の婚礼」展の見どころ	杉山 哲司	57

71	1月18日(水)	企画展「徳川将軍家の婚礼」関連講座②将軍御台所の婚礼と篤姫・和宮の婚礼調度	小池 富雄	73
72	1月19日(木)	千住の文化と美術—琳派と文晁の系譜—①千住の酒合戦をめぐる人々	真田 尊光	130
73	1月20日(金)	特別展「戦国時代展-A Century of Dreams-」関連講座③戦国時代の朝廷	渡邊 大門	147
74	1月25日(水)	企画展「徳川将軍家の婚礼」関連講座③将軍家の婚礼に見る有職故実	田中 潤	89
75	1月27日(金)	特別展「戦国時代展-A Century of Dreams-」関連講座④信長の城づくり事始 ～小牧山城の発掘調査から～	小野友記子	159
76	2月3日(金)	江戸幕府の最高権力者徳川将軍①徳川氏の血統	近松 鴻二	290
77	2月7日(火)	幕末維新期における江戸の人材派遣業①	市川 寛明	116
78	2月9日(木)	千住の文化と美術—琳派と文晁の系譜—②千住の琳派絵師	真田 尊光	124
79	2月21日(火)	幕末維新期における江戸の人材派遣業②	市川 寛明	111
80	2月23日(木)	福井県連携講座「由利公正という個性」	角鹿 尚計	124
81	2月24日(金)	江戸幕府の最高権力者徳川将軍②歴代将軍一覧	近松 鴻二	277
82	3月1日(水)	特別展「江戸と北京」関連講座①「老北京」の年中行事	周星	103
83	3月8日(水)	特別展「江戸と北京」関連講座②絵巻から見た江戸と北京の都市生活 —「江戸と北京」展のみどころ—	江里口友子	114
84	3月9日(木)	千住の文化と美術—琳派と文晁の系譜—③千住と文晁の系譜	真田 尊光	126
85	3月10日(金)	企画展「戦時下のこどもたち」関連講座①「少国民」のくらし—戦時下東京のこどもたち展のみどころ—	松井かおる	48
86	3月14日(火)	異国に贈られた屏風絵	朴 美姫	76
87	3月16日(木)	新・日本建築家列伝「フランク・ロイド・ライトと日本」①フランク・ロイド・ライトと日本への影響	米山 勇	140
88	3月17日(金)	企画展「戦時下のこどもたち」関連講座②女学生の勤労働員と風船爆弾	松井かおる	50
89	3月22日(水)	特別展「江戸と北京」関連講座③日本に招来された清朝陶磁器"	堀内 秀樹	73
90	3月23日(木)	新・日本建築家列伝「フランク・ロイド・ライトと日本」②ライトからの贈り物をいきいきと受け継いで～自由学園明日館の動態保存～	有賀 寛	120
91	3月24日(金)	江戸幕府の最高権力者徳川将軍③歴代将軍の「妻妾」	近松 鴻二	271

2 伝統芸能フォーラム

伝統芸能の発展と継承を目指し、多くの都民が伝統芸能に親しむ機会を提供することを目的として、能楽公演を開催した。

(1) 「能公演・藤戸」公益財団法人能楽協会の企画制作による公演

※英語・日本語字幕付

期 日 平成 28 年 12 月 3 日 (土)
 会 場 江戸東京博物館 1 階ホール
 主 催 公益財団法人東京都歴史文化財団 東京都江戸東京博物館
 内 容 宝生流「藤戸」
 第一部 解説・謡体験
 第二部 能 宝生流「藤戸」
 出演：今井 泰行【前シテ・後シテ】、舘田 善博【ワキ】、
 御厨 誠吾【ワキツレ】、野口 野弘【ワキツレ】、
 山本則秀【アイ】他
 入場料 2,000 円 (高校生以下 1,000 円)
 参加者数 259 人

(2) 「狂言・附子、居杭」公益財団法人能楽協会の企画制作による公演

※英語・日本語字幕付

期 日 平成 28 年 12 月 4 日 (日)
 会 場 江戸東京博物館 1 階ホール
 主 催 公益財団法人東京都歴史文化財団 東京都江戸東京博物館
 内 容 第一部 解説・狂言大蔵流「附子」
 第二部 狂言 大蔵流「居杭」
 出演：善竹富太郎【シテ】、小梶 直人【アド】、善竹大二郎【アド】、
 吉田信海【後見】 他
 入場料 2,000 円 (高校生以下 1,000 円)
 参加者数 224 人

3 国際交流事業

東京都江戸東京博物館と中国・北京首都博物館、韓国・ソウル市立歴史博物館、中国・瀋陽故宮博物院 (平成 18 年度より参加) の 4 館で首都における歴史博物館の交流の一環として、平成 14 年度から毎年輪番制で国際シンポジウムを開催している。

今年度の第 15 回日中韓博物館国際シンポジウムは、平成 28 年 10 月 11 日・12 日、瀋陽故宮博物院において開催された。今回はシンポジウムの共通テーマ「博物館発展途上中における文化創意的なオリジナルグッズの役目」を設定し、自由論題報告を含め計 8 本の発表があった。

第 15 回日中韓博物館国際シンポジウム

報告類型	所 属	発表者	テーマ
共通テーマ	江戸東京博物館	坂井貴子	ミュージアムにおけるオリジナルグッズの意義と可能性
	北京首都博物館	龍 霄飛	博物館文化アイデア商品の研究開発に関する一考察
		齊 密雲	文化アイデア及び商品が博物館発展における役割 - 首都博物館を事例に

	瀋陽故宮博物院	蘇 陽	所蔵文物と文化アイデア商品で大衆の知的欲求を満たす －瀋陽故宮博物院の文化アイデア商品を例として－
		車 氷氷	文化新政での博物館発展の新しい機会を論じる
自由論題	ソウル歴史博物館	姜 海殷	都市文化を基盤とした博物館文化商品開発及び活性化方案
	江戸東京博物館	市川寛明	学説としての展示模型-展示模型の限界とその克服のために
	ソウル歴史博物館	韓 恩熙	ソウルの記憶と博物館展示－清溪川博物館を事例とする

4 えどはく寄席

日 程 来館者数の多い時期に開催日を絞り、新緑寄席・向日葵寄席・紅葉寄席・伝統芸能ウィーク・正月寄席・ファミリー寄席を実施した。今年度も1日あたりの開催回数には2回から4回の幅を持たせ、時間も来館者の多い時間帯に合せて実施した。

客 数 **80,519人**

(うち「秋の伝統芸能ウィーク」4,524人、「正月公演」7,341人)

内 容 伝統芸能の継承・普及及び常設展示室の賑わいの演出を目的に、常設展示室5階中村座前で、落語、漫才、紙切り、かっぽれ、太神楽、邦楽、ジャグリング、曲芸などを実演した。内容については新緑寄席やひまわり寄席ではファミリー向けの太神楽やジャグリングなどを中心とした構成とし、特にひまわり寄席では夜間開館にあわせ、講談による怪談を実施するなど、特集的な要素を盛り込んだ。紅葉寄席では芸術の秋に合わせて落語などじっくり聞かせる演目とした。さらに今年度も、学校団体の多い11月の平日に児童・生徒へ向けた「秋の伝統芸能ウィーク」を実施し、教育普及プログラムの一環として、事業の充実を図った。正月には恒例のからくり公演をはじめ、箏曲演奏、獅子舞など正月らしい催事や公式マスコットキャラクター「ギボちゃん」との記念撮影などを実施した。3月後半の土日、祝日と開館記念日には、ファミリー寄席として、太神楽、紙切り、曲独楽、邦楽演奏など多彩な内容の公演を行った。

[実績一覧]

日付の前、無印は通常のえどはく寄席、☆印は伝統芸能ウィーク、★印は正月の催しを各々表す。

日 付	演 目	出 演 者	観客数
4月23日	津軽三味線	白田路明・匹田大智	554
4月24日	奇術・太神楽	藤山大樹・鏡味正二郎	648
4月29日	奇術・曲独楽	伊藤夢葉・やなぎ南玉	1409
4月30日	ヴァイオリン演歌・太神楽	マクナム小林・丸一小助・小時	1275
5月1日	紙切り・太神楽	青空麒麟児・鏡味正二郎	1588
5月2日	紙切り・奇術	林家花・藤山大樹	1184
5月3日	紙切り・太神楽	青空麒麟児・鏡味初音	2294
5月4日	紙切り・太神楽	林家花・鏡味初音	1961
5月5日	モダン曲芸・太神楽	ボンボンブザース・鏡味正二郎	1647
5月6日	奇術・太神楽	藤山大樹・鏡味千代	1263

5月7日	紙切り・モダン曲芸	林家今丸・ボンボンラザース	1238
5月8日	紙切り・モダン曲芸	林家今丸・ボンボンラザース	1337
5月14日	津軽三味線	白田路明・匹田大智	667
5月15日	奇術・太神楽	伊藤夢葉・丸一小助・小時	677
5月21日	箏・尺八	伊藤江里菜・田辺恵山	605
5月22日	曲独楽・太神楽	やなぎ南玉・鏡味味千代	610
5月28日	津軽三味線	柴田雅人・柴田祐梨	643
5月29日	曲独楽・ヴァイオリン漫談	やなぎ南玉・マグナム小林	660
6月11日	江戸芸かっぽれ	櫻川びん助社中	547
7月9日	奇術・落語・講談	北見翼・桂歌助・神田紫	917
7月10日	箏	渡部祐子・伊藤江里菜	646
7月16日	ヴァイオリン漫談・落語・講談	マグナム小林・桂米福・神田紫	926
7月17日	尺八	田嶋謙一・大河内淳矢	653
7月18日	津軽三味線	柴田雅人・白田路明	770
7月23日	曲独楽・落語・講談	やなぎ南玉・桂南なん・室井琴調	831
7月24日	津軽三味線	柴田雅人・白田路明	773
7月30日	紙切り・落語・講談	青空麒麟児・桂南なん・神田松鯉	883
7月31日	尺八・津軽三味線	田嶋謙一・白田路明	687
8月6日	曲独楽・紙切り・講談	やなぎ南玉・林家今丸・神田松鯉	1,726
8月7日	太神楽・奇術（洋装）	鏡味正二郎・伊藤夢葉	1,687
8月8日	太神楽・紙切り	鏡味味千代・林家花	1,400
8月9日	奇術・モダン曲芸	北見翼・ボンボンラザース	1,311
8月10日	太神楽・紙切り	丸一小助・小時・林家今丸	1,408
8月11日	奇術・紙切り	藤山大樹・林家花	2,016
8月12日	太神楽・曲独楽	鏡味初音・やなぎ南玉	1,693
8月13日	奇術（洋装）・ヴァイオリン漫談・講談	伊藤夢葉・マグナム小林・神田松鯉	1,827
8月14日	曲独楽・モダン曲芸	やなぎ南玉・ボンボンラザース	1,719
8月20日	奇術・落語・講談	藤山大樹・三遊亭金太郎・室井琴調	968
8月21日	尺八・津軽三味線	田嶋謙一・白田路明	687
8月27日	動物ものまね・講談	江戸家まねき猫・三遊亭遊吉・神田紫	950
8月28日	津軽三味線	柴田雅人・匹田大智	727
9月10日	江戸芸かっぽれ	櫻川びん助社中	626
9月24日	尺八	田嶋謙一・大河内淳矢	703
9月25日	奇術・落語	伊藤夢葉・三遊亭鳳志	868
10月1日	箏・尺八	伊藤江里菜・田辺恵山	1,211
10月2日	太神楽・落語	丸一小助・小時・三遊亭遊之介	1,002
10月8日	尺八・津軽三味線	田嶋謙一・白田路明	1,031
10月9日	紙切り・落語	林家花・春風亭柳之介	1,184
10月10日	津軽三味線	柴田雅人・匹田大智	948
10月15日	津軽三味線	柴田祐梨・柴田愛	762
10月16日	奇術・落語	北見翼・三遊亭圓丸	858

10月22日	津軽三味線	柴田雅人・柴田佑梨	924
10月23日	曲独楽・落語	やなぎ南玉・桂歌助	862
10月29日	箏	渡部祐子・伊藤江里菜	798
10月30日	太神楽・落語	鏡味初音・三遊亭春馬	982
11月3日	尺八・津軽三味線	田嶋謙一・白田路明	892
11月5日	津軽三味線	柴田雅人・匹田大智	890
11月6日	奇術・落語	藤山大樹・三遊亭夢花	963
☆11月8日	津軽三味線	柴田雅人・柴田佑梨・白田路明	688
☆11月9日	三味線・箏・尺八	渡部祐子・伊藤江里菜・田辺恵山	501
☆11月10日	尺八	田嶋謙一・遠藤頌豆・川村葵山	300
☆11月11日	三味線・箏・尺八	渡部祐子・伊藤江里菜・田辺恵山	711
11月12日	江戸芸かつぼれ	櫻川ぴん助社中	533
☆11月15日	落語	立川談幸	506
☆11月16日	落語	柳家蝠丸	539
☆11月17日	落語	桂伸治	642
☆11月18日	落語	春風亭柳橋	637
12月10日	江戸芸かつぼれ	櫻川ぴん助社中	653
★1月2日	からくり実演	夢からくり一座	1,737
★1月3日	からくり実演	夢からくり一座	1,724
★1月4日	からくり実演	夢からくり一座	917
★1月5日	からくり実演	夢からくり一座	886
★1月7日	落語・太神楽	桂小文治・鏡味味千代	685
★1月8日	落語・紙切り	土橋亭里う馬・林家花	710
★1月9日	落語・奇術	柳亭楽輔・北見翼	682
1月14日	江戸芸かつぼれ	櫻川ぴん助社中	613
2月11日	江戸芸かつぼれ	櫻川ぴん助社中	650
3月11日	江戸芸かつぼれ	櫻川ぴん助社中	636
3月18日	津軽三味線	柴田雅人・匹田大智	632
3月19日	尺八・箏	田辺恵山・匹田大智	657
3月20日	津軽三味線	柴田佑梨・柴田愛	698
3月25日	曲独楽・太神楽	やなぎ南玉・ボンボンブラザース	636
3月26日	和妻・太神楽	北見翼・鏡味初音	743
3月28日	太神楽・紙切り	鏡味美千代・林家花	687

5 ふれあい体験教室

ふれあいボランティアが企画・運営する伝統的な文化や芸能の体験型事業や、高齢者や子供を対象とした参加型事業を実施した。

実施回数 51件
参加者数 2, 356人

〔実績一覧〕

日程	内容	人数
4月2日	8枚の羽根のかざぐるまを作ろう	40
4月9日	和算パズル・反古紙で小物を作ろう	73
4月16日	歌舞伎の鳴り物を鳴らしてみよう	80
4月23日	ときめきキモノ体験	20
4月30日	藍色のオリジナル敷物をつくろう（両国祭り参加）	56
4月30日	祭り茶席（両国祭り参加）	41
5月1日	手描き風鈴を作ろう（両国祭り参加）	30
5月1日	広重の江戸百景を訪ねるツアー（両国祭り参加）	29
5月21日	歌舞伎の鳴り物をならしてみよう	120
5月21日	江戸名所図で歩く神田界限	20
6月4日	水無月茶席	46
6月4日	和算パズル・反古紙で小物を作ろう	77
6月12日	「江戸文様で遊ぼう（消しゴムはんこで千代紙を作る）」	71
6月18日	歌舞伎の鳴り物を鳴らしてみよう	90
7月2日	和算パズル・反古紙で小物を作ろう	69
7月24日	歌舞伎の化粧をしてみよう（子供向け）	14
7月29日	切り子体験教室	22
7月30日	切り子体験教室	19
7月30日	夏休み建て染め体験(小学生向け)	30
7月30日	ときめきユカタ体験	36
7月31日	親子で作ろう「江戸ぱたぱた」	26
8月21日	歌舞伎の鳴り物を鳴らしてみよう	207
8月21日	「浮世絵摺り体験教室」	22
8月27日	ときめきユカタ体験	30
9月3日	和算パズル・反古紙で小物を作ろう	61
9月10日	秋の建て染め体験	51
9月17日	歌舞伎の鳴り物を鳴らしてみよう	115
9月24日	万華鏡で遊ぼう	15
9月24日	江戸名所図会で「八百屋お七」の足跡を歩く（駒込～春日）	14
9月25日	8枚羽根のかざぐるまを作ろう	45
10月1日	神無月茶席	44
11月6日	南千住散歩	12

11月12日	歌舞伎の化粧をしてみよう（大人向け）	20
11月12日	クリスマスミニリースをつくろう	50
11月19日	紙独楽を作ろう	46
11月26日	万華鏡で遊ぼう	17
11月27日	ときめきキモノ体験	17
11月27日	ぼち袋を摺ろう	30
12月3日	師走茶席	38
12月3日	和算パズル・反古紙で小物を作ろう。	73
1月7日	和算パズル・反古紙で小物を作ろう	84
1月21日	扇子遊びをしましょう	32
1月21日	歌舞伎の鳴り物をならしてみよう	130
1月28日	ときめきキモノ体験	21
1月29日	鬼の面を作ろう	48
2月4日	如月茶席	45
2月25日	ときめきキモノ体験	18
2月26日	立版古講座「浮世絵を組み立てよう」	13
3月4日	歌舞伎の化粧をしてみよう（大人向け）	15
3月12日	飛鳥山・王子の名所（などころ）散歩	18
3月18日	万華鏡で遊ぼう	16

6 ミュージアムトーク

日 時 毎週金曜日の16時～16時30分

回 数 計52回

参加者数 1,285人

学芸員による展示解説。企画展や特集展示などの特別企画の他、常設展示各コーナーにおける展示内容を詳しく紹介した。

[実績一覧]

日 時	担 当	コーナー・テーマ	人数
4月1日	田中裕二	企画展「近代百貨店の誕生 三越呉服店」 展みどころ	31
4月8日	田中裕二	企画展「近代百貨店の誕生 三越呉服店」 展みどころ	23
4月15日	小酒井大悟	町の暮らし	17
4月22日	小酒井大悟	町の暮らし	16
4月29日	小林愛恵	江戸の四季と盛り場	15
5月6日	小林愛恵	江戸の四季と盛り場	21
5月13日	橋本由起子	市民文化と娯楽	16

5月20日	橋本由起子	市民文化と娯楽	17
5月27日	長屋さくら	文明開化東京	8
6月3日	長屋さくら	文明開化東京	10
6月10日	白井麻美	江戸の美	20
6月17日	白井麻美	江戸の美	14
6月24日	杉山 哲司	江戸城と町割り	28
7月1日	杉山哲司	江戸城と町割り	16
7月8日	担当者（文化庁）	企画展「発掘された日本列島 2016」展みどころ	38
7月15日	担当者（文化庁）	企画展「発掘された日本列島 2016」展みどころ	42
7月22日	担当者（文化庁）	企画展「発掘された日本列島 2016」展みどころ	37
7月29日	津田紘子	高度経済成長期の東京	18
8月5日	津田紘子	高度経済成長期の東京	17
8月12日	小酒井大悟	企画展「山岡鉄舟と江戸無血開城」展みどころ	53
8月19日	小林愛恵	企画展「伊藤晴雨 幽霊画展」みどころ	43
8月26日	小酒井大悟	企画展「山岡鉄舟と江戸無血開城」展みどころ	69
9月2日	小林愛恵	企画展「伊藤晴雨 幽霊画展」みどころ	25
9月9日	杉山哲司	江戸城と町割り	22
9月16日	杉山哲司	江戸城と町割り	30
9月23日	松井かおる	関東大震災	17
9月30日	松井かおる	関東大震災	20
10月7日	白井麻美	文化都市江戸	12
10月14日	白井麻美	文化都市江戸	18
10月21日	長屋さくら	文明開化東京	12
10月28日	長屋さくら	文明開化東京	13
11月4日	津田紘子	現代の東京	22
11月11日	津田紘子	現代の東京	4
11月18日	粟屋朋子	企画展「市民からのおくりもの 2016 ー平成27年度 新収蔵品からー」展みどころ	18
11月25日	西村直子	企画展「市民からのおくりもの 2016 ー平成27年度 新収蔵品からー」展みどころ	18
12月2日	松井かおる	モダン東京	20
12月9日	松井かおる	モダン東京	19
12月16日	小林愛恵	出版と情報	30
12月23日	小林愛恵	出版と情報	30
1月6日	小酒井大悟	江戸の商業	55
1月13日	小酒井大悟	江戸の商業	37
1月20日	担当者（公益財団法人徳川	企画展「徳川将軍家の婚礼」みどころ	44

	記念財団)		
1月27日	担当者(公益財団法人徳川記念財団)	企画展「徳川将軍家の婚礼」みどころ	40
2月3日	杉山哲司	企画展「徳川将軍家の婚礼」みどころ	35
2月10日	松井かおる	空襲と都民	15
2月17日	松井かおる	空襲と都民	20
2月24日	白井麻美	芝居と遊里	18
3月3日	白井麻美	芝居と遊里	24
3月10日	松井かおる	企画展「戦時下東京のこどもたち」みどころ	28
3月17日	松井かおる	開化の背景	25
3月24日	松井かおる	開化の背景	22
3月31日	松井かおる	企画展「戦時下東京のこどもたち」みどころ	23

7 博物館ボランティア

市民とのコミュニケーションを豊かにし、市民の協力や協働のもとに生涯学習社会にふさわしい開かれた博物館を目指して館の活性化を図るため、江戸東京博物館（本館）では平成9年10月1日、江戸東京たてももの園（分館）では平成8年12月4日からボランティア制度の試行、実施を行った。

本年は、本館336名、分館186名体制により、本館では11,021件のガイド、分館では茅葺き農家燻煙及び団体案内ガイド、自主活動等を行った。

本年は、本館展示ガイドボランティア（外国語）の募集を6年ぶりに行い、本館336名の体制となって、11,021件のガイドを行った。分館は186名の体制により、茅葺き農家燻煙及び団体案内ガイド、自主活動等を行った。

(1) 本館ボランティア

① 登録人数（平成29年3月31日現在）

展示ガイドボランティア 277名

ふれあいボランティア 59名（この内、展示ガイドとの兼任22名）

合計（延べ人数） 336名

② 活動日時

展示ガイド

火曜日～日曜日（開館日） 10時～16時

毎日20～30名程度のグループで活動

ふれあいスタッフ

9つの班に分かれ、全体で年間51回の体験教室を実施

③ 活動内容

日本人及び外国人来館者に対する常設展の案内。

（日本語、英語、ドイツ語、中国語、フランス語、ハンガール語、スペイン語、イタリア語。）

江戸東京の伝統・文化に関するワークショップ（「ふれあい体験教室」）の運営

④ 対応件数（平成28年4月～29年3月）

外国語による案内件数 5,152件

日本語による案内件数 5,789件

団体事前案内件数 0件
 スポット解説 80件

⑤ ボランティア対象の研修
 研修実施回数 21回
 研修参加者数（延べ人数） 890人

(2) 分館ボランティア

①ボランティア活動

- ・登録人数（平成29年3月31日現在） 186名
- ・茅葺民家の燻煙・園内ガイド
- ・たてもの園事業への協力
- ・自主活動

②こどもボランティアひじろっ子

- ・活動人数 15人
- ・活動日 平成28年8月21日（日）、8月23日（火）～26日（金）
- ・民家の拭き掃除、ガイドなど

8 人材の育成

江戸東京の歴史と文化に関わる情報と博物館に対する理解を深めるため、さまざまな研修等を実施し、人材育成を図った。

(1) 学芸員実習の受入れ

将来の博物館を担う人材の育成と、当館の博物館活動の社会還元のために、学芸員資格取得に必要な博物館実習を受け入れた。

申込数 28校
 受入者数 20名
 期間 平成28年8月31日（水）～9月8日（木）

カリキュラム

	実施日	スケジュール	実施内容	実施形式	担当係
1	8月31日 (水)	午前	【オリエンテーション】事業企画課長挨拶、展示事業係長挨拶、実習担当者紹介、実習生自己紹介、諸注意、保険料徴収		展示事業係
			【常設展示・教育普及活動①】教育普及活動、ボランティア	講義	事業企画課長
		午後	【常設展示見学】	見学	展示事業係
			【常設展示・教育普及活動②】教育普及活動、ボランティア	講義	事業企画課長
			【博物館の現状と課題】	講義	副館長
		【事務連絡】たてもの園実習について		展示事業係	

2	9月1日 (木)	午前	【たてもの園の概要】	講義	たてもの園係
			【たてもの園の普及事業】	講義	たてもの園係
			【たてもの園見学】	見学	たてもの園係
		午後	グループワーク	実習	たてもの園係
			グループワーク発表、講評	実習	たてもの園係
		【事務連絡】			たてもの園係
3	9月2日(金)	午前	【朝会】 日誌回収、事務連絡	講義	展示事業係
			【資料の収集と保管】 資料の収集と保管	講義	資料係
			【資料の収集と保管】 バックヤード・収蔵庫見学	見学	資料係
		午後	【資料の収集と保管】 資料の収集と保管・資料情報カードの作成	実習	展示事業係
			展示実習について	講義	展示事業係
		【事務連絡】			展示事業係
4	9月6日 (火)	午前	【朝会】 日誌回収、事務連絡		展示事業係
			【展示実習】 展示実習説明、グループ内担当分け	講義	展示事業係
			【図書室】 図書室の使い方	実習	司書
		午後	【館長講義】	講義	館長
			【展示実習】 グループワーク（展覧会基本計画の立案・施工デザイン・チラシ作成・調査解説）	実習	展示事業係
		【事務連絡】 事務連絡			展示事業係
4	9月7日 (水)	午前	【朝会】 日誌回収、事務連絡		展示事業係
			【展示実習】 グループワーク	実習	展示事業係
		午後	【展示実習】 グループワーク	実習	展示事業係
			【展示実習】 展示準備（演示具選定、会場設営）	実習	展示事業係
		【事務連絡】 事務連絡			展示事業係
5	9月8日 (木)	午前	【朝会】 日誌回収、事務連絡		展示事業係
			【展示実習】 展示作業（資料搬入、演示具搬入、展示作業）	実習	展示事業係
		午後	【展示実習】 展示作業（資料搬入、演示具搬入、展示作業）	実習	展示事業係
			【展示実習】 発表、講評	実習	展示事業係
		【片付け】 片付け	実習		展示事業係

			【学芸員自習まとめ】反省会、展示 事業係長挨拶、事務連絡		展示事業係
--	--	--	---------------------------------	--	-------

(2) 博学連携

当館の入館者増とリピーターの確保及び平成14年度から実施された完全学校週五日制と「総合的学習」に対応するため、博物館と学校との連携事業を展開した。当館を学習の場として希望する生徒を対象に「訪問学習」を実施した。

① 訪問学習の実施

学芸員及び博学ボランティア（7名）による歴史学習への対応

参加人数 179人

参加学校数 26校（小学校 0、中学校 23、高等学校 3、大学 0）

② 平和学習の実施

参加人数 → 28人

参加学校数 → 2校（小学校 0、中学校 2、高等学校 0、大学 0）

③ 職場訪問の実施

参加人数 114人

参加学校数 22校（中学校22、高等学校0）

(3) その他の研修受入れ

① 首都大学東京現場体験型インターンシップ

参加人数 3名

実施時期・内容

- ・本館 平成 28 年 8 月 24 日（水）～8 月 26 日（金）常設展体験模型の検証
- ・たてもの園 平成 28 年 8 月 15 日（月）、16 日（火）導入展示補助、建物監視補助等

② 都庁国際化リーダー育成プログラム

参加人数 毎回 200 人

実施時期

- ・平成 28 年 7 月 22 日（金）江戸東京博物館常設展見学と講義（計 4 講座）
 - 第 1 講 市川寛明「江戸東京博物館で学ぶ江戸の歴史」
 - 第 2 講 杳沢博行「江戸東京博物館で学ぶ東京の歴史」
 - 第 3 講 市川寛明「江戸文化の特質について」
 - 第 4 講 杳沢博行「江戸東京の歴史がわかる場所紹介」
- ・平成 28 年 10 月 31 日（月）～11 月 2 日（水）都内史跡見学（グループワーク）

VIII 施設維持管理・貸出等

1 博物館管理運営東京都江戸東京博物館（本館及び分館）の指定管理者として、館の円滑な管理運営を図るため、各種会議・委員会を開催した。

(1) 東京都江戸東京博物館運営委員会

館の運営及び事業活動について、広い視野から助言を得、適正かつ円滑な館運営に資するため、東京都江戸東京博物館運営委員会を設置している。

○平成28年度第1回東京都江戸東京博物館運営委員会

日 時	平成28年7月25日（月）14時から16時まで
場 所	事務棟2階 会議室
内 容	1 副会長の指名 2 平成27年度事業実績について 3 江戸東京たてももの園復元建造物部会の実施報告について 4 その他

○平成28年度第2回東京都江戸東京博物館運営委員会

日 時	平成29年3月28日（火）14時から16時まで
場 所	事務棟2階 会議室
内 容	1 平成29年度事業計画について 2 平成28年度の入館状況について 3 江戸東京たてももの園復元建造物部会設置要項（案）について 4 その他

○ 東京都江戸東京博物館運営委員会委員（平成29年3月末現在）

会 長	市 村 佑 一	（前江戸川大学学長）
副 会 長	久留島 浩	（国立歴史民俗博物館館長）
委 員	池 山 世津子	（渋谷区子ども総合支援センター長）
委 員	伊 東 孝	（産業考古学会会長）
委 員	薄 井 和 男	（神奈川県立歴史博物館館長）
委 員	熊 倉 功 夫	（静岡文化芸術大学学長）
委 員	越 澤 明	（北海道大学名誉教授）
委 員	坂 本 正 彦	（全国小学校社会科研究協議会推薦 世田谷区区立 経堂小学校校長）
委 員	峰 岸 純 夫	（首都大学東京名誉教授）
委 員	山 本 与志春	（東京都私立中高等学校協会推薦 青山学院常務理事）
委 員	吉 見 俊 哉	（東京大学大学院情報学環・学際情報学府教授）

○平成28年度第1回東京都江戸東京博物館運営委員会復元建造物部会

日 時	平成28年7月5日（火）10時30分から12時まで
場 所	江戸東京たてももの園 会議室

○ 東京都江戸東京博物館外部評価委員会委員

委員長 半田 昌之 (日本博物館協会専務理事)
委員 畠 中 勇 (江戸東京博物館友の会会長)
委員 松 尾 正 人 (中央大学教授)
委員 松 田 幸 雄 (株緑山スタジオ・シティ 常務取締役)
委員 村 田 孝 子 (ポーラ文化研究所 研究員)

○ 平成28年度江戸東京たてもの園外部評価委員会

第1回

日時 平成28年7月15日(金) 午後1時から2時30分
場所 江戸東京たてもの園 会議室
内容 1 平成27年度外部評価総合評定について
2 平成28年度事業計画について

第2回

日時 平成29年5月11日(木) 午後3時から5時
場所 江戸東京たてもの園 会議室
内容 平成28年度外部評価 総合評定について

○ 江戸東京たてもの園外部評価委員会委員 (平成29年3月末現在)

委員長 陣 内 秀 信 (法政大学教授)
委員 小 沢 朝 江 (東海大学教授)
委員 小 野 一 之 (府中市郷土の森博物館館長)
委員 中 島 清 文 (三鷹の森ジブリ美術館館長)
委員 西 田 剛 (小金井市教育委員会生涯学習部長)

(3) コンソーシアム運営協議会

コンソーシアム構成団体間において、館の運営に関する基本事項及び重要事項の協議・決定を行う機関としてコンソーシアム運営協議会を設置し、(公財)東京都歴史文化財団グループの代表団体として、鹿島建物総合管理(株)及びアサヒビール(株)三者間の総合調整を行った。

○ 平成28年度コンソーシアム運営協議会

第1回

日時 平成28年7月25日(月) 11時から13時まで
場所 事務棟2階 会議室
内容 1 平成27年度運営実績報告及び決算について
2 その他

第2回

日時 平成29年3月14日(火) 14時から16時まで
場所 事務棟2階 会議室
内容 1 平成28年度運営実績報告(平成29年2月まで)
2 平成28年度運営実績報告及び決算について
3 コンソーシアムの軌跡
4 その他

2 本館維持管理

東京都江戸東京博物館の施設・設備及び物品の維持管理、観覧料等の徴収事務、利用者サービス業務等を行った。

また、「東京都江戸東京博物館条例」に基づき、江戸及び東京の歴史と文化の振興に資する講演会、講習会、研究会、鑑賞会等を実施する団体に対し貸出した日数は、次のとおりであった。

ホール216日、会議室195日、学習室（合計）336日、その他の施設（合計）411日、特別展示室247日

3 たてもの園維持管理

江戸東京たてもの園の施設・設備及び物品の維持管理、観覧料等の徴収事務、利用者サービス業務等を行った。

4 野外収蔵（庭園保全管理）

江戸東京たてもの園内の庭園保全のため、植栽の維持・管理業務等を行った。

5 AVシステムの運営

「館内CATV」「文字ディスプレイ」及び「展示解説システム」により施設・催事案内や常設展示の解説を行うとともに、「映像ホール」「映像ライブラリー」において江戸東京に関連する映像ソフトを提供した。

「映像ホール」では、企画展や季節に合わせた館蔵映像資料のプログラム上映を行った。また、団体への事前ガイドや視察時の会場、小学校教員向けの見学相談会や日本博物館協会シンポジウムの会場として使用した。

(1) 映像ホール

入場者実績 35,939人（年間目標利用者数33,380人／達成率107.67%）

	利用目的	内 容	入場者実績
1	ボランティアガイドによる館案内	学校団体等に対して、入館前に館の概要等をボランティアより説明・館内の案内映像を放映	2,425人
2	視察対応	外部団体や大学、海外要人・機関等への館概要説明	159人
3	学校連携	館の学校連携事業会場として利用	123人
4	団体	館対応の学校や団体の利用	588人
5	ボランティア研修	新規ボランティアの養成研修会の会場として利用	120人
6	企画上映	特別展・企画展に関連した映像や季節にふさわしい映像を放映	32,524人

28年度企画上映プログラム

3月19日（土）～6月3日（金）

企画上映①江戸東京博物館開館日（3/28）関連映像

「江戸東京博物館のできるまで」 1993年/東京都江戸東京博物館制作

企画上映②企画展「近代百貨店の誕生 三越呉服店」関連映像

「映像で綴る東京の昭和 第3巻 モダン東京」

1992年/東京都江戸東京博物館制作

「銀座八丁」 1964年/東京都映画協会制作

企画上映③特集：東京さんぽ

「変化する身近な風景2 東京の坂道」 1992年/東京都江戸東京博物館制作

「東京の庭園2 後樂園・浜離宮」 1986年/東京都江戸東京博物館制作

6月4日（土）～8月7日（日）

企画上映①特集：発掘・遺跡

「地下三尺は縄文？平安？」 1986年/東京都映画協会制作

「遺跡のふるさと」 1970年/東京都映画協会制作

企画上映②夏を楽しむ 一妖怪・怪談一

「東京のおばけ」 1990年/東京都映画協会制作

「立絵紙芝居 猿飛佐助 化物退治の巻」 1993年/東京都江戸東京博物館制作

企画上映③伝統工芸

「金唐革紙」 1993年/東京都江戸東京博物館制作

8月8日（月）～11月6日（日）

企画上映①

「写し絵」 1992年/東京都江戸東京博物館制作

企画上映②

「勝海舟ゆかりの史跡をたずねて」 1993年/東京都江戸東京博物館制作

「歴史と文化の散歩道 日本橋・本所・深川」 1988年/東京都映画協会制作

企画上映③

「仏像シリーズ6 ふるさと東京の仏たち」 1983年/東京都映画協会制作

11月8日（火）～2月19日（日）

企画上映①

「浮世絵版画の複製」 1993年/東京都江戸東京博物館制作

企画上映②

「東京の伝統工芸品 第3 1巻 江戸甲冑」 1987年/東京都産業労働局制作

企画上映③

「今に伝える放鷹の技～東京の鷹匠～」 1995年/東京都映画協会制作

「東京に残る名職人の技」 1991年/東京都映画協会制作

2月21日（火）～5月21日（日）

企画上映①

「東京の下町と山の手」 1992年/東京都江戸東京博物館制作

「江戸から東京・坂の町」 1988年/東京都映画協会制作

企画上映②企画展「戦時下東京の子供たち」(3/7～5/7開催) 関連特集

「映像で綴る東京の昭和 第6巻 戦時下の暮らし」

1992年/東京都江戸東京博物館制作

「絵日記が語る学童疎開」 1994年/東京都映画協会制作

企画上映③特別展「江戸と北京 18世紀の都市の暮らし」(2/18～4/9開催) 関連特集

「粋と洒落 江戸前料理」 1995年/東京都江戸東京博物館制作

※企画上映①…10時30分～/13時30分～/16時30分～、企画上映②…11時30分～/14時30分～/17時30分～（土曜日のみ）、企画上映③…12時30分～/15時30分～

(2) 映像ライブラリー

設置ブース数	14台（最大28人同時利用可）
映像ソフト数	456タイトル（平成24年3月31日現在）
アクセス回数	12,647回（平成28年4月1日～平成29年3月31日）

（年間目標利用回数13,000回／達成率97.28%）

「映像ライブラリー」では、特別展・企画展や年中行事等に合わせ、毎月5作品ずつ「おすすめ作品」を選定している。館内各種案内映像とちらして紹介し、利用の活性化を図っている。

IX 広報事業

1 本館

種別	名称	実績
館内案内	江戸東京博物館案内リーフレット	デザイン・内容を改訂し、より分かりやすく親しみやすいリーフレットとした。 日本語版 235,000部 英語版 100,000部 フランス語版 10,000部 ドイツ語版 10,000部 スペイン語版 10,000部 合計 365,000部
定期刊行物	江戸東京博物館ニュース	日本語版・英語版年4回発行 日本語版 計 240,000部 英語版 計 80,000部
取材対応		新聞・テレビ番組などによる取材に対応した。 対応件数 422件
インターネットホームページ	日本語版、英語版、中国語版、ハングル版	デザイン・内容を改訂し、わかりやすく魅力的なHPとした。年間カレンダーや重要なお知らせの表示方法を改善。アクセス件数 9,675,896件
スマートフォンサイト	日本語版、英語版、中国語版、ハングル版	ホームページと連動したスマートフォンサイトでの情報発信
メールマガジンの配信	江戸東京博物館ニューズレター	年12回配信 47,757通
その他の広報	PR活動	①企画展プレス内覧会の実施 5回
	チラシ・ポスターの発行(夏休みイベント)	①夏休みイベント チラシ 80,000部 ポスター 300部 ②正月イベント チラシ 110,000部 ポスター 730部
	有料広告の出稿	① CNNj, 外国人街歩きMAP等16件の有料広告掲出 ② YouTubeへ東アジア向け有料広告動画を掲出。
	ソーシャルメディアの活用	Twitterフォロワー数16,400人 開館10周年記念で制定された公式キャラクター「ギボちゃん」によるツイッターを即時性の高い広報ツールとして活用した。

その他の広報	公式キャラクター「ギボちゃん」の活用	錦糸町で開催の「すみだ祭り」に公式キャラクター「ギボちゃん」出演「すみだ祭り」の2日間で2,230セットのチラシ、ギボちゃんペーパークラフト500セット、マグネット100個を配布
	外国人対象の広報	米国サンフランシスコ市で開催された「J-POP SUMMIT 2016」（日本文化の見本市）にブースを出展した。 平成28年7月23～24日 来場者：約2万人

【印刷物の作成】

種別	名称	実績
総合案内	『常設展示総合図録』	英語版2,000部
総合案内	『模型で見る江戸東京』	3,000部
	『図表で見る江戸東京』	3,000部
総合案内	『探検！体験！江戸東京博物館』	子供向けガイドブック 3,000部

2 分館

【印刷物の作成】

種別	名称	実績
館内案内 ガイド	江戸東京たてもの園 案内リーフレット	英語版 10,000部 中国語版(簡体字) 3,000部 中国語版(繁体字) 4,500部 合計 17,500部
定期刊行物	たてもの園だより	年2回 延50,000部
	事業案内チラシ	年4回 延372,000部
取材対応		新聞・テレビ番組などによる取材に対応した 対応件数 229件
その他広報	有料広告の出稿	Let's Enjoy Tokyoウェブページ、フリーペーパー、メルマガや朝日新聞多摩版等8件の有料広告掲出

【ホームページ・SNSの活用】

- (1) ホームページアクセス件数（平成29年3月末現在）2,161,858件
- (2) スマートフォンサイトアクセス件数（平成29年3月末現在）843,819件
- (3) ツイッターフォロワー数（平成29年3月末現在）19,991人
- (4) ブログ、ツイッター、フェイスブックにて随時情報発信

3 読売新聞「江戸博 蔵めぐり」掲載実績

回	掲載日	執筆者	資料名	タイトル
1	4月1日	田中裕二	合名会社三井呉服店より株式会社三越呉服店営業譲渡受広告	日本初の「デパート」宣言
2	4月15日	田中裕二	三井呉服店陳列場の図 三井呉服店店先の図	ご購入対面・陳列選べます
3	4月22日	津田絃子	名所江戸百景 亀戸梅屋舗 版木(複製)	彫師と摺師 繊細な技術
4	5月20日	橋本由紀子	キャラメル箱 森永製菓	花と少女 美しい化粧箱
5	5月27日	田原昇	重修黒本尊縁起	霊験 幸村から家康救う
6	6月3日	田原昇	徳川家康像	神格化して描いた肖像画
7	6月17日	橋本由紀子	大皿(龍土軒使用)	持つとズシリ 歴史の重さ
8	7月1日	小酒井大悟	模型 江戸東京を掘る	地層に刻まれた歴史 実感
9	7月16日	長屋さくら	CROQUIS JAPONAIS ビゴー素描集1	和洋混合の男子学生 写生
10	7月22日	津田絃子	手絞り付洗濯機	「三種の神器」絞りは手動
11	7月29日	我妻直美	北斎漫画 十二編	笑い誘う設定で妖怪描く
12	8月26日	小酒井大悟	四斤山砲の砲弾	新政府軍 彰義隊に撃つ
13	9月2日	小林愛恵	維新前四季往来之図屏風	にぎわう江戸 躍動感
14	9月16日	白井麻美	更紗図譜	デザイン染色布の技法書
15	10月6日	長屋さくら	東京日々新聞三百二十二号	事件の報道 鮮やかな画で
16	10月21日	津田絃子	紅筆を持てる女	緻密な彫り 鮮やかな色彩
17	10月28日	落合則子	日本橋通二丁目にて(戦災スケッチ14)	淡々と記録 画家の執念
18	11月3日	阿部由紀洋	丸木舟	全長6メートル 復元に挑戦
19	11月18日	栗屋朋子	新宿末廣亭 つるし(行燈文字)	大入り願う独特な筆致
20	11月25日	白井麻美	新板浮絵亀井戸天満宮之図	名所の「赤」印象的に
21	12月2日	小林愛恵	通気粋語伝	町人のトレンド 本で発信
22	12月16日	齋藤慎一	庭訓往来	手紙例文集 語彙の教科書
23	1月20日	杉山哲司	楽宮下向絵巻	婚礼の行列 細部まで描く
24	1月27日	小酒井大悟	安政午秋 頃痢流行記	実録 コレラ流行の江戸
25	2月3日	杉山哲司	婚姻道具寸法書	嫁入り道具仕様 図解

26	2月17日	川口友子	木場之雪	雪の夜 心温まる窓の光
27	2月24日	白井麻美	青楼絵本年中行事	吉原遊びのしきたり
28	3月3日	江里口友子	唐土名勝図会	中国の風俗や儀礼 紹介
29	3月17日	杳沢博行	驢馬 浅草観世音奥山ニ於て興行仕候	舶来の珍獣 心躍る興行
30	3月24日	真下祥幸	武蔵国全図	広範囲網羅した観光案内